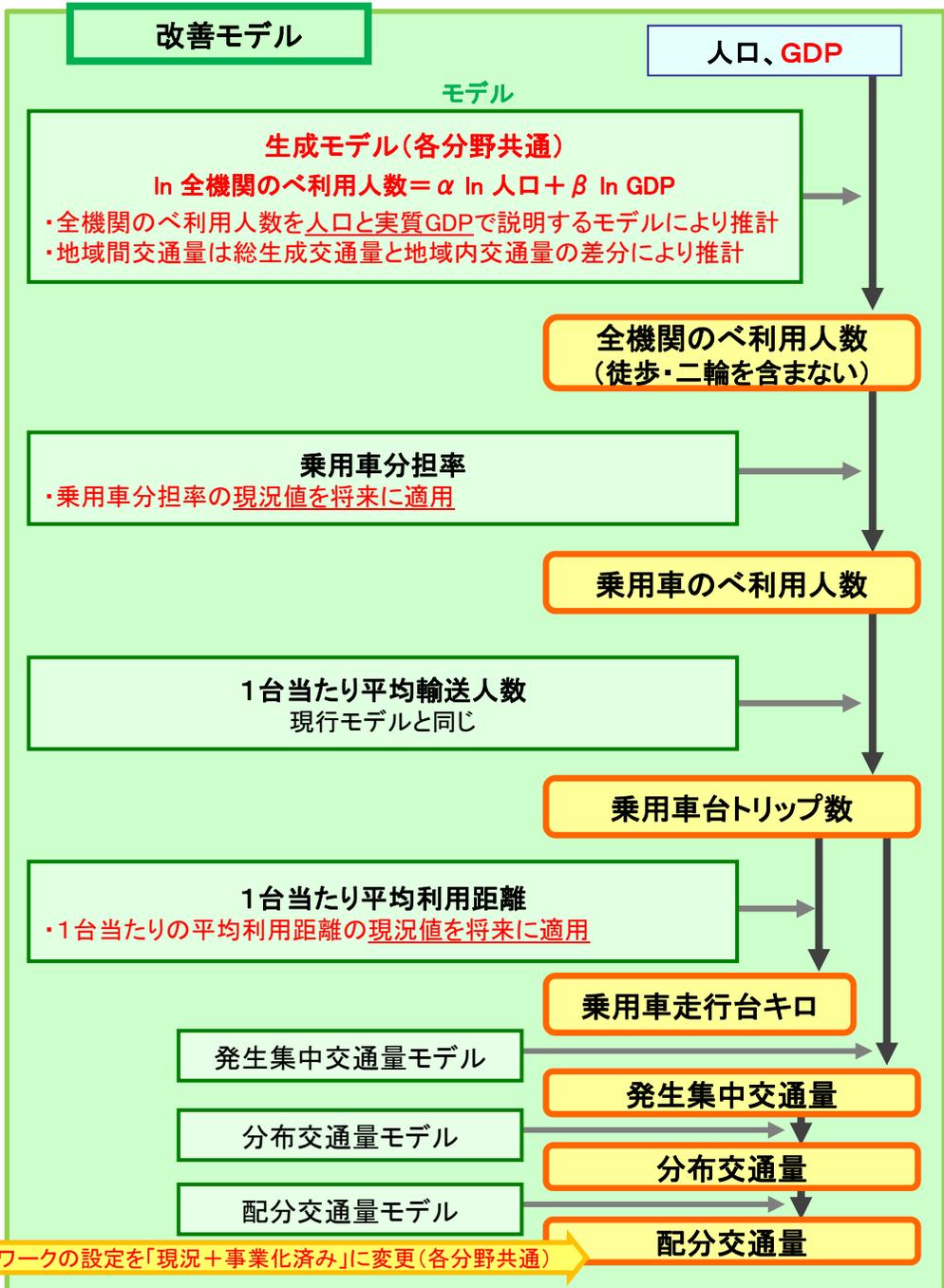
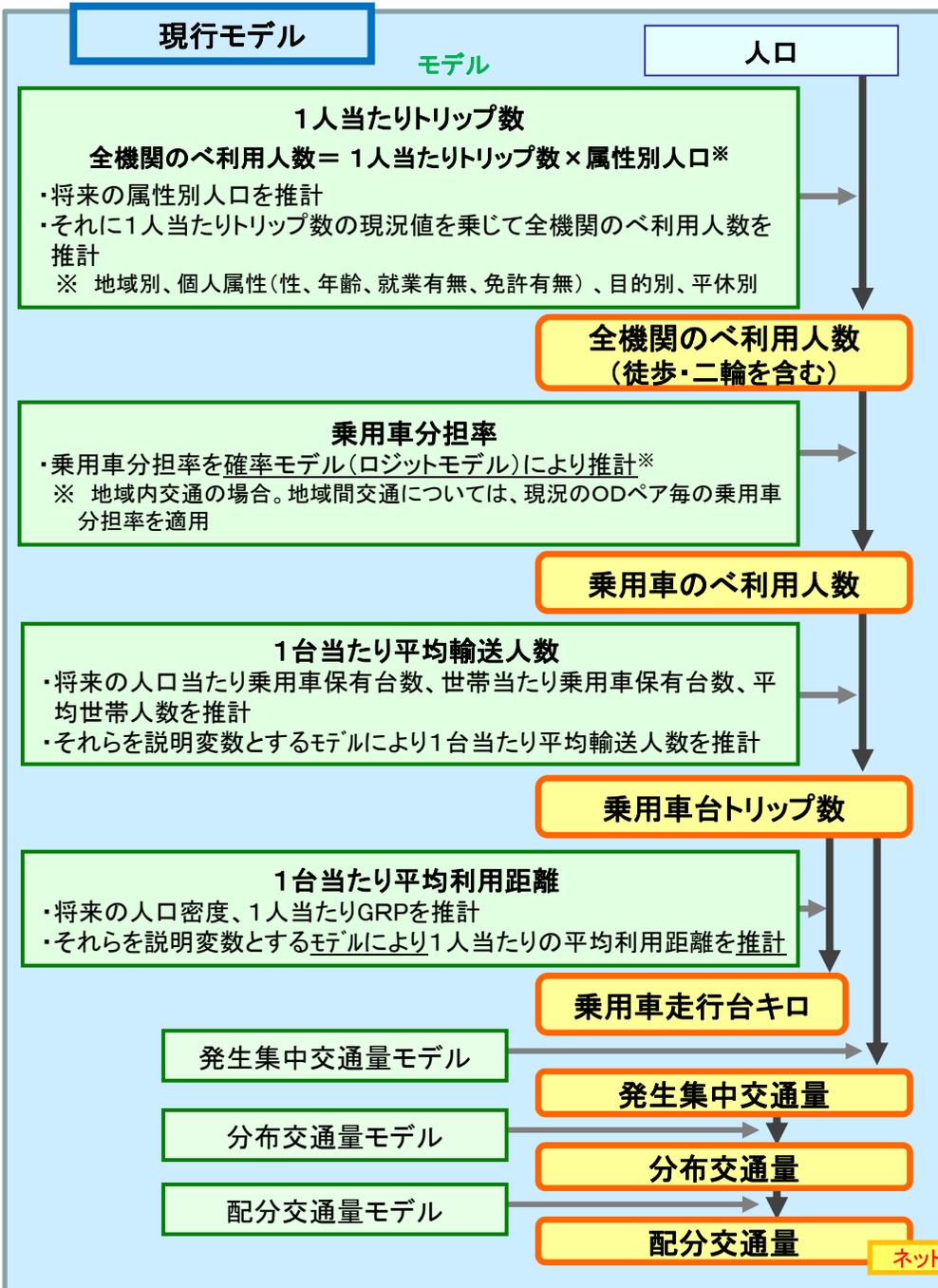
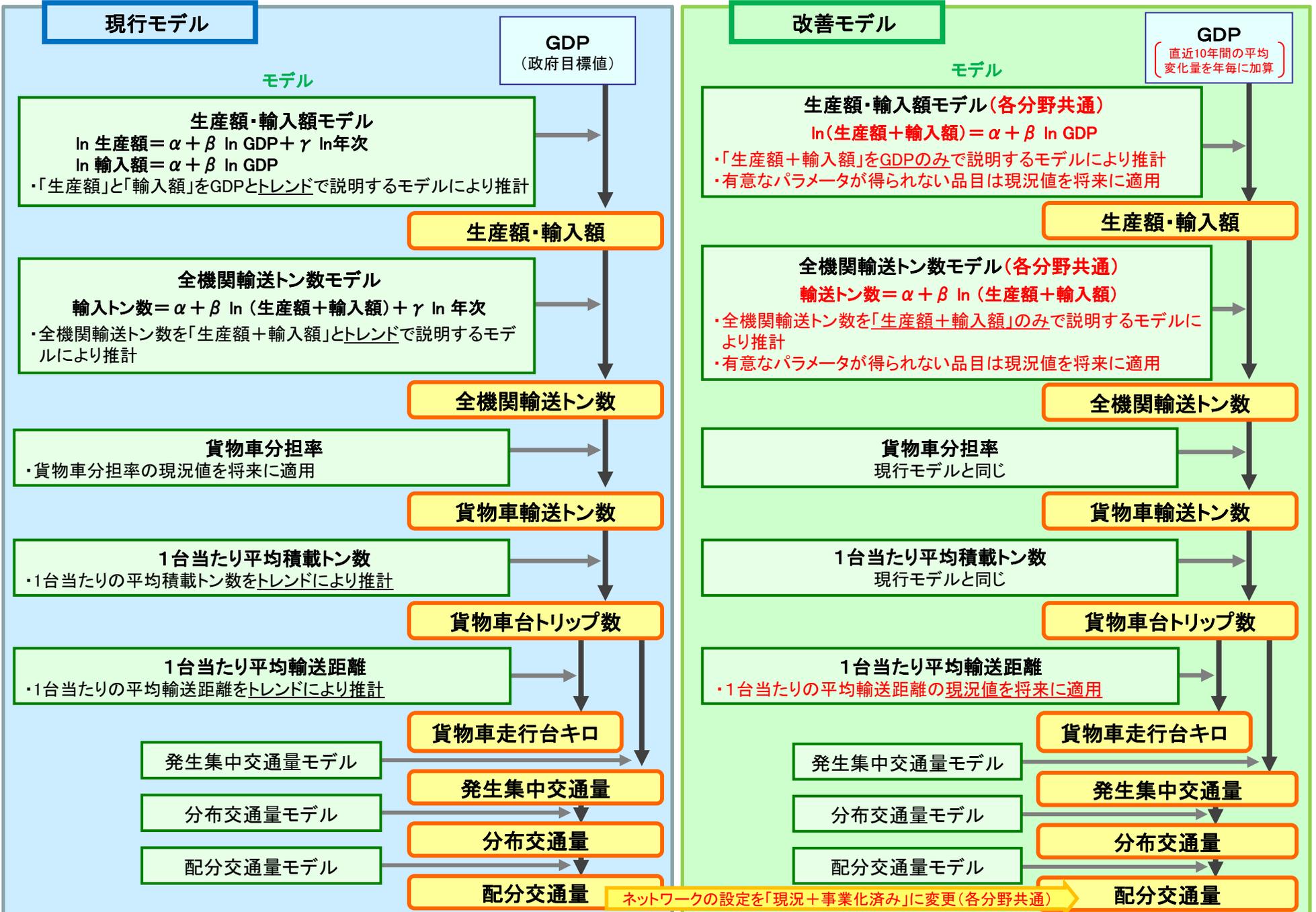


# 道路(人の移動)における改善点



# 道路(物の移動)における改善点



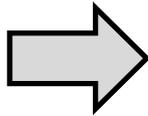
# 鉄道における改善点

## 第1段階での改善点

### 1. 生成モデルの改善

改善前

人口・1人あたり  
GDPを使用する  
モデル



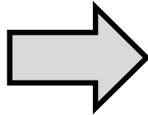
改善後

人口・GDPを使用するモデル

### 2. 発生モデルの改善

改善前

人口・1人あたり  
GRPを使用する  
モデル



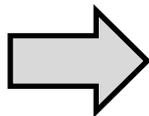
改善後

人口・GRPを使用するモデル

### 3. ACC(アクセシビリティ指標)の削除

改善前

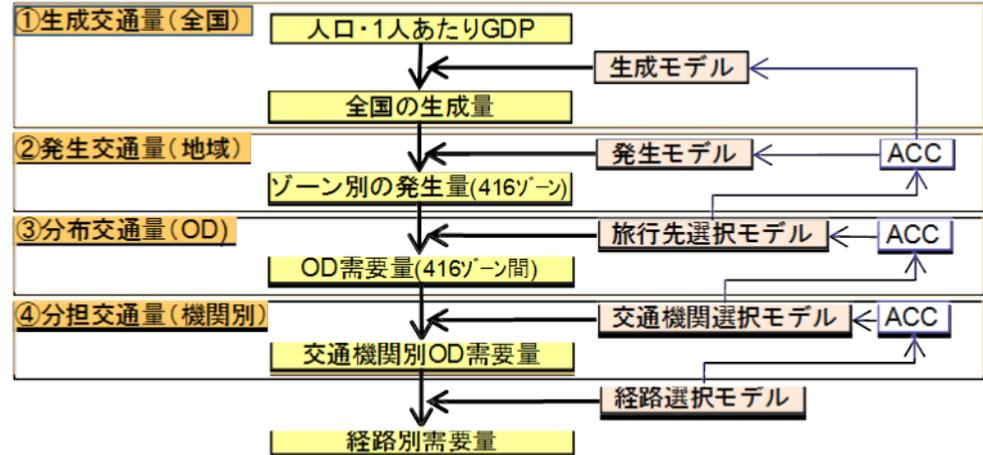
生成量・発生量の  
推計についてACC  
を考慮



改善後

生成量・発生量の  
推計についてACC  
を削除

## 推計手法のフロー図



### 第一段階の改善

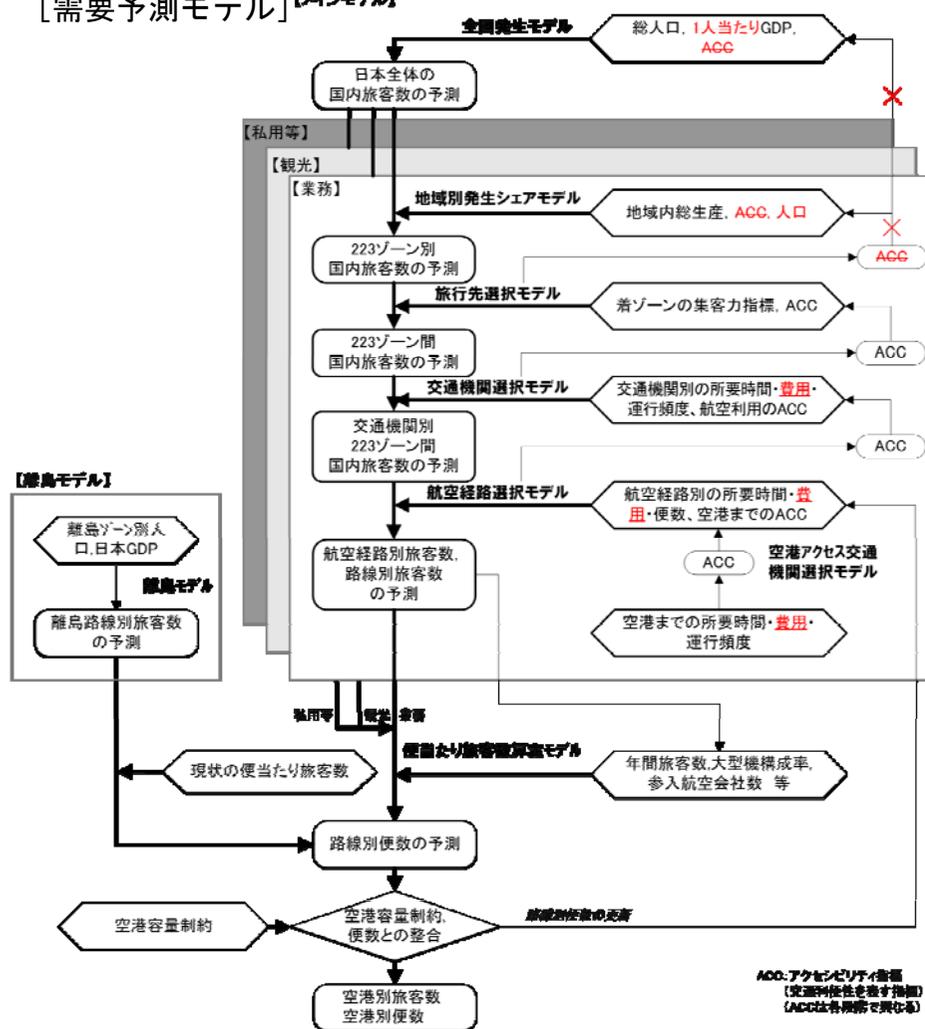


# 航空旅客における改善点

第一段階の改善では、既存の航空需要予測手法をベースに、

- ①全国発生モデルの分野横断的な統一
- ②地域別発生シェアモデルの説明変数等の精査
- ③交通機関選択モデル等における割引を考慮した運賃水準(実勢運賃)の考慮
- ④将来需要推計の前提条件とする将来フレームや交通サービス指標等の分野横断的な統一を行った。

【需要予測モデル】**【メインモデル】**



## ①全国発生モデル

- ・全国発生量は、総生成交通量と地域内々交通量の差分として推計
- ・ゾーン間200km以上シェアを考慮
- ・説明変数を「人口」「GDP」の2変数とし、アクセシビリティ指標(ACC)を除外

## ②地域別発生シェアモデル

- ・基本的な説明変数を「人口」「GRP」の2変数とし、ACCを除外

## ③交通機関選択モデル等

- ・割引を考慮した運賃水準(実勢運賃)の考慮
- ※第二段階の改善以降に適用

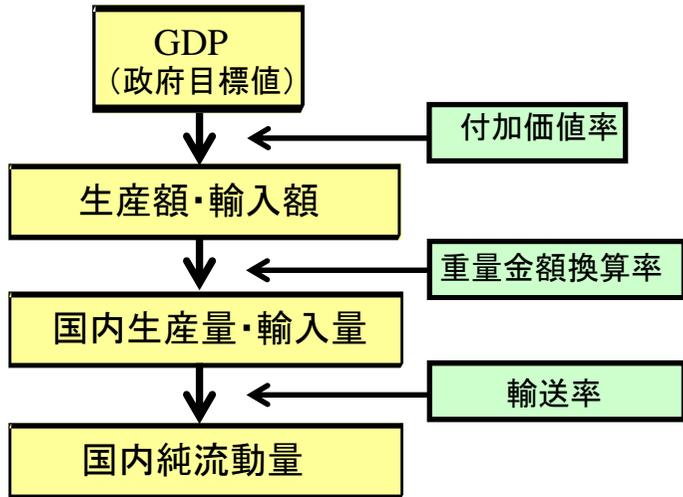
注) 既存の航空需要予測手法(「航空需要予測について」(国土交通省国土技術政策総合研究所))の需要推計フローに加筆

# 港湾における改善点

（「港湾の開発、利用及び保全並びに開発保全航路の開発に関する基本方針」における取扱貨物量の需要推計手法）

## 現行モデル

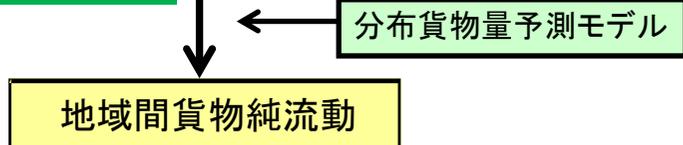
### ①生成交通量



### ②発生交通量



### ③分布交通量



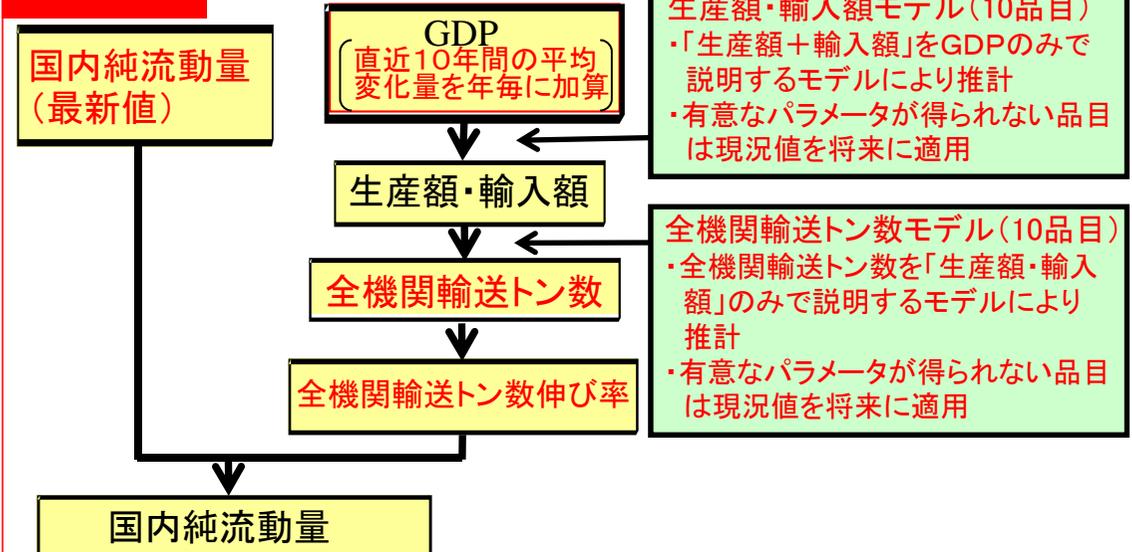
### ④分担交通量



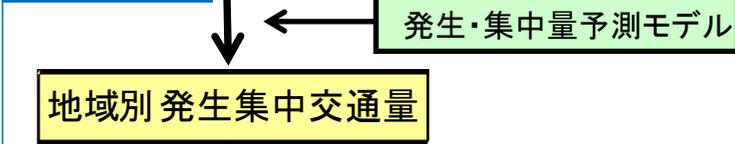
## 改善モデル

※赤字が改善部分

### ①生成交通量



### ②発生交通量



### ③分布交通量



### ④分担交通量

